

山番号	山名 (別名)南部富士	登頂順	標高M
13	岩手山	61/100	2,038
登頂年月日	山頂天候	年齢	山中宿泊小屋
2002.8/7 平成14年		56	
メンバー	往路:8/6JASで花巻へ盛岡でバス乗り継いで網張のペンション「あみはりロッジ」2泊 復路:8/8、9は盛岡、仙台、郡山(泊)で講師。8/10吾妻山登山に向う		
単独	複数	ガイド	ツアー
賢治、啄木の故郷の山			
コースタイム	7:461合目⇒11:20山頂?⇒12:30避難小屋⇒14:30登山口 <歩程6:45 標高差1408M>		
同時登頂百名山	別々登頂 縦走登頂	8/10の吾妻山へ	
<p>お鉢は強風と濃いガスで最高地点を見失うほど危険で手厳しい歓迎だった。怖いのは下山方向を見失う事だ。天辺に着いたら三角点を捜す前に下山口をしっかりと確認しておくことだ。単独登山の場合は特に重要だ。登りの方向はほぼ限定的だが、頂上からの下りは八方有り得る。私は大菩薩嶺の頂上で下り口の確認を忘れて一瞬焦った経験が有る。岩木山の頂上はお鉢の奥、一周すると方向感覚が狂うのが心配で記憶にある往路を引き返した。</p>			

山番号	山名 (別名)早池峰山	登頂順	標高M
14	早池峰	43/100	1,917
登頂年月日	山頂天候	年齢	
2000.8.5 平成14年		56	
メンバー	8/3郡山、仙台、8/4盛岡出張泊 下山後直帰、翌日は彩子の結納式		
単独	複数	ガイド	ツアー
日本のエーデルワイス”ハヤチネウスユキソウ”の咲く山			
コースタイム	10:50河原坊⇒13:25頂上17:00⇒15:20小田越 <歩程5:10 4.9Km 標高差677M>		
交通手段	往路:8/3JAL, JR, 8/4 JR 現地:8/5JR, TAXI, バス 復路:8/5JAS		
<p>風が無く暑いササ藪を直登する河原の坊コース、下りは鉄製の長いハシゴのある小田越コースを選んだ。登りは蛇紋岩の巨岩帯で大汗をかいたので河原坊で飲んだビールは格別だった。6月から9は高山植物の宝庫の名に相応しい。ハヤチネウスユキソウは終わった直後で見られなかった。早池峰の名は清楚な女性をイメージする。清楚なハヤチネウスユキソウに会えなかったのは残念だった。</p>			

山番号	山名 出羽富士、秋田富士	登頂順	標高M
15	鳥海山	97/100	2,236
登頂年月日	山頂天候	年齢	山中宿泊小屋
2012.7/19 平成24年		66	7/19御室小屋 (鳥海温泉に前後泊)
メンバー	主催	毎日新聞旅行	7/18、20鳥海温泉「湯楽里」泊
単独	複数	ガイド	ツアー
人数	リーダー	7/21羽黒山五重塔 (出羽三山の一つ)	
男6 女2	吉永氏		
コースタイム	7/197:45鈍立⇒15:10頂上⇒15:35御室小屋 <歩程7:25 標高差1,200M>		
	7/206:10御室小屋⇒滝ノ小屋⇒11:55駐車場 <歩行時間5:45 標高差900M>		
<p>北海道便の航空機からいつも捜した鳥海山、冠雪するとすぐそれと分かる独立峰だ。標準時間9時間で標高差1,200mを往復するところを、鈍立の象潟口から鳥海湖経由で七時間以上掛けて登り、山頂の御室小屋に泊った。朝、日本海の低い雲に珍しい「影鳥海」が映り出された。大きなブロッケン現象だ。これを見ただけでも価値のある登山だった。しかも今回は往復航空機利用の上、山頂泊、温泉ホテル前後泊という超ゆったり行程だった。参加者も私を含めて皆相応の年齢層だった。</p>			

山番号	山名 (別名)	登頂順	標高M
16	月山	42/100	1,980
登頂年月日		山頂天候	年齢
2000.7.20 平成12年			54
山中宿泊小屋			
7/19夜行寝台特急「日本海1号」⇒3:31鶴岡下車、待合室で仮眠⇒7/20バスで8合目まで往復			
7/20下山⇒新潟泊ワシントンH⇒7/21新潟			
コースタイム			
8合目7:30⇒10:20頂上10:40⇒8合目 ＜歩行時間5:00 標高差665＞			
交通手段			
往路:7/19JR		現地:バス、JR	復路:ANA

夜行寝台列車を利用したの登山は初めてで、横になれたのは有難かった。しかし夜中3時半鶴岡駅に着いてしまい、1番バスまで駅の待合室で仮眠となった。バスで8合目まで行って、そこからの往復となる。尾瀬を思わせる弥陀ヶ原の池塘群を抜けて緩やかな稜線ハイキングだが夜行疲れでノロノロ歩きだった。

地名が立山や白山を思わせる信仰の山、山頂でお祓いを受けて下山した。出羽三山の主峰は厳しい「羽黒修験道」のイメージとは程遠い優しい山容だった。

山番号	山名 (別名)	登頂順	標高M
17	朝日岳	100/100	1,870
登頂年月日		山頂天候	年齢
2013.9.18 平成25年			67
山中宿泊小屋			
9/17古寺鉱泉「朝陽館」 9/18竜門小屋、9/19タキタロウ小屋(大鳥小屋)			
メンバー			
単独	複数	ガイド	ツアー
			人数
			リーダー
			阿波、山田氏他
同時登頂百名山			
別々登頂		蔵王山へ	
コースタイム			
9/18 「朝陽館」4:40⇒11:13大朝日岳⇒14:40竜門小屋 歩行時間10:00			
9/19 竜門小屋5:00⇒10:50以東岳⇒13:56⇒大鳥小屋 歩行時間9:00			
9/20 大鳥小屋5:30⇒8:45泡瀬ダム 歩行時間3:15			
交通手段			
往路:9/17ANAで仙台⇒JRで山形		9/17山形⇒バスで古寺	復路:9/20バスで山形⇒バスで蔵王

百名山目に相応しい3日間の楽しい朝日岳連峰縦走となった。シナリオに無かったメンバー全員の手かざしアーチをくぐっての嬉しい登頂。山田ガイドの音頭で万歳三唱と全員での記念撮影は山頂での至福のひとつだった。竜門小屋でお礼にビールを振る舞うと改めての祝杯となった。1座目の大菩薩嶺以来47年3カ月での長〜道のりだった。

山番号	山名 (別名)	登頂順	標高M
18	蔵王山	56/100	1,841
登頂年月日		山頂天候	年齢
2013.9.21 平成25年			67
山中宿泊小屋			
9/20(蔵王山「高見屋」)			
メンバー			
単独	複数	ガイド	ツアー
			人数
			リーダー
			阿波、山田氏他
同時登頂百名山			
別々登頂		朝日岳より	
コースタイム			
2020/9/21ロープウェイ9:05頂上駅、地藏岳⇒10:05熊野岳⇒11:05刈田岳(釜且かつ井) 歩行時間2:00			
交通手段			
往路:9/21山形からバス		現地:9/21ロープウェイ、バス	復路:9/22バス、JR仙台⇒バスで仙台AP、ANA

前夜は蔵王温泉の「高見屋」に泊まり一人で百名山登頂達成を祝い、「深山懐石膳」で祝杯を挙げた。余韻に浸ったままの温泉は夢心地だった。翌日は地藏山から熊野岳を経て、深緑の御釜を見ながら馬の背をたどり刈田岳までの心満たされたハイキングとなった。帰宅すると長女一家も来て祝いのメッセージが書かれたケーキで祝福してくれた。さて、アフター百名山は・・・年相応の新しい山との付き合い方に転向して、そろそろゴールの無い「自分仕上げ」に取りかかろう。山であれこれ思った”コト”が待っている。